

30年度の地域コミュニティ活動支援事業の団体は下記5団体でした。

事業名・内容	団体名
<p>おもちゃと遊びで世代間コミュニケーションⅡ</p> <p>おもちゃ作りと遊びを通して、子どもから大人までの世代間を超えたコミュニケーション作りを図り、これを地域の人々に広めていきます。また「木育」活動を通じて、子どもたちに「木」の持つぬくもりや優しさを伝え、そこから自然に対する心を育みます。さらに、伝統的な遊びや表現遊びに触れ合う機会をより多くの人々に提供し、遊びの大切さやその有効性を伝えていきます。</p>	おもちゃと遊びの会
<p>ふらっと親子で新百合ヶ丘を楽しもう！</p> <p>新百合ヶ丘は利便性がよく、お出かけも新宿や横浜へすぐ出かけることが出来るため、日常生活だけでは、麻生区に住んでいてもなかなか街と繋がることが少ない現状がある。街を好きになるためには、まず自分の街を知ること。麻生区、近郊に住む街の方や農家の方に教えて頂きながら、親子で楽しめるワークショップやイベントを通して農育・食育を育むことも大切に、街の魅力を再発見していく。</p>	ふらっと新百合ヶ丘
<p>「平和を願い、実現するための集い」</p> <p>麻生区の住民、とりわけ子供たちに、平和の尊さを伝え、平和を維持することに立ち向かっていく若者たちが生まれればと思います。とりわけ、生存している被ばく体験者の話を、直接、若者たちに伝え、核兵器のない世界を創ることの大切さを共有したい。</p>	平和を願う会
<p>音楽で繋がろう！輝こう！</p> <p>家にこもりがちな高齢者や、介護する人・介護を必要としている人が、「音楽をきっかけに地域の人たちとつながる」場づくりをする。音楽が持っている力(ストレス軽減、リラックス、情緒の安定など)を利用して、生きていることを実感していただき、その人らしさを引き出して、笑顔でその人らしく暮らしていけるようにする。</p>	音楽で笑顔！プロジェクト
<p>オレンジ・リングでつなぐ！認知症ケア・ステージ</p> <p>高齢化による認知症は深刻な社会問題となっている。四人に一人が罹る認知症も初期の軽度の段階なら押さえ遅らせることが可能といわれる。一番有効な対策は心と頭の働きを活発にすること。認知症への理解と看護予防の啓発をステージで発信する。高齢者自らが歌い、踊り、芝居を演じることで、心を元気に！！</p>	スマレふれんず